

資料4

薬学系人材養成の在り方に関する検討会
(第17回) H27.2.24

6年制薬学部への編入学に関する追加調査

大学

学科

平成 年 月 日現在

1. 編入学における具体的な単位認定の方法について

- ① 既修得単位の認定の方法について、以下から選択してください。
- 自大学の各開講科目にそれぞれ読み替える。
 - 自大学の開講科目との整合性でなく、モデル・コアカリキュラムとの整合性を基に科目を認定する。
 - 自大学の開講科目との整合性は問わず、出身大学で履修した科目の内容や成績が妥当であれば個々に科目を認定する。
 - 出身大学で修得した科目は、出身大学での判断を尊重して、個々の科目の確認は行わず、原則としてそのまま既修得単位として認める。
 - その他(※以下の回答欄に具体的に記述をお願いします。)

回答欄

※「e.その他」と回答した場合は、以下の欄に具体的に記述をお願いします。

- ② ①においてc又はdの場合、認定した科目について、モデル・コアカリキュラムの内容をどのようにして担保しているのか、具体的な方策を示してください。

※①と②について、受入れ年次ごとに扱いが異なる場合や、教養科目、必修科目、選択科目等、科目の区分等によって扱いが異なる場合は、それぞれ回答をお願いします。(行や列の追加は行わず、上記回答欄内に御回答ください。)

- ③ 認定に際し確認する書類について(以下、該当するものを全て選択してください)

- 履修証明書
- 各科目のシラバス
- その他(※以下の回答欄に具体的に記述をお願いします。)

回答欄

※「c.その他」と回答した場合は、以下の欄に具体的に記述をお願いします。

2. 一括認定、包括認定について

前回(昨年12月)の調査で「一括認定」「包括認定」と回答されている場合、具体的にどのようなことを意味していますか。単位認定までのプロセス等が分かるように、具体的に記述してください。

3. 科目の積み上げについて

- ① 編入生を受け入れる際、受入れ年次より下の年次で履修すべき必修科目を認定できなかった場合、当該必修科目の履修を前提とした高年次開講科目の履修について編入後に支障が生じる恐れがありますが、このことについてどのような方針で対応していますか。以下から選択してください。
- a. そのような必修科目を認定できるかどうかにより、編入年次を決める。
 - b. 補講等に対応し、その後の履修に支障が出ないようにする。
 - c. 編入学に関しては、例外的に、積み上げについて考慮していない。
 - d. その他(※以下の回答欄に具体的に記述をお願いします。)

回答欄

※「d.その他」と回答した場合は、以下の欄に具体的に記述をお願いします。

- ② ①においてb又はcの場合、6年一貫の薬学教育として支障が出る可能性が考えられますが、それに対してどのように対応されているか、また、どのようにお考えであるか、お聞かせください。

【担当者連絡先】

部署名:

氏名:

電話番号:

e-mail:

御回答ありがとうございました。